

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【公表番号】特表2007-532405(P2007-532405A)

【公表日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【年通号数】公開・登録公報2007-044

【出願番号】特願2007-508518(P2007-508518)

【国際特許分類】

B 6 0 R 19/18 (2006.01)

B 6 0 R 19/04 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 19/18 R

B 6 0 R 19/04 M

B 6 0 R 19/18 P

B 6 0 R 19/18 Q

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月11日(2008.4.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

パンパシステムであって、

前壁及び後壁、並びに該前壁と該後壁とを接続する水平壁を有する管状ビームであって、少なくとも前記前壁の端が除去されることで該ビームに前方に開いたポケットが形成される、管状ビームと、

各端の前記ポケットに入れ子式に収納されてコーナ衝突のためのエネルギー吸収コーナ構造を形成する、エネルギー吸収エンドピースとを備える、パンパシステム。

【請求項2】

パンパシステムであって、

前方に開いたポケットを形成するマイターカット端部分を有する、管状ビームと、前記ポケットのそれぞれに入れ子式に収納されてコーナ衝突のためのエネルギー吸収コーナ構造を形成する、エネルギー吸収エンドピースとを備える、パンパシステム

【請求項3】

前記ポケットは、各端に第1のポケット及び第2のポケットを含み、

前記エネルギー吸収エンドピースは、前記第1のポケット及び前記第2のポケットを入れ子式に係合する第1のロープ及び第2のロープを含む、請求項1または2に記載のパンパシステム。

【請求項4】

前記エネルギー吸収エンドピースは、前記ポケットから前記管状ビームの開口端内に延びる舌部を含む、請求項1または2に記載のパンパシステム。

【請求項5】

前記エネルギー吸収エンドピースは、その内端で前記管状ビームの前記前壁の第2の前面の隣接部分と概ね整列するが該第2の前面に対して一定の角度を画定する、第1の前面

を含む、請求項 1 または 2 に記載のバンパシステム。

【請求項 6】

バンパを製造する方法であって、

管状ビームを設けるステップと、

前記管状ビームの端をマイターカットするステップであって、それにより、該管状ビームの前部を除去して、前記端において少なくとも 1 つの前方に開いたポケットを露出させる、マイターカットするステップと、

エネルギー吸収体を前記少なくとも 1 つの前方に開いたポケットに挿入するステップであって、それにより、前記管状ビームのコーナ衝突特性を改善する、エネルギー吸収体を挿入するステップと

を含む、バンパを製造する方法。